

平成25年3月期 決算短信補足資料

平成25年5月10日

丸大食品株式会社

URL <http://www.marudai.jp>

◇ 連結業績(平成25年3月期)	P.2
◇ 平成25年3月期 セグメント別 連結業績	P.3
◇ 連結財政状態	P.4
◇ 平成25年3月期 連結業績のポイント	P.5
◇ キャッシュ・フロー	P.6
◇ 次期の見通し	P.7
◇ 平成25年3月期 主力商品紹介	P.8

連結業績(平成25年3月期)

■売上高■

低価格志向などによる販売価格の下落などにより計画は下回ったものの、食肉事業の売上高が堅調に推移したことから、前年比1.4%の増収。

■営業利益■

主力のハム・ソーセージ部門の減収、原材料・燃料価格の高騰、食肉事業の収益性低下などにより、前年比△43.9%の減益。

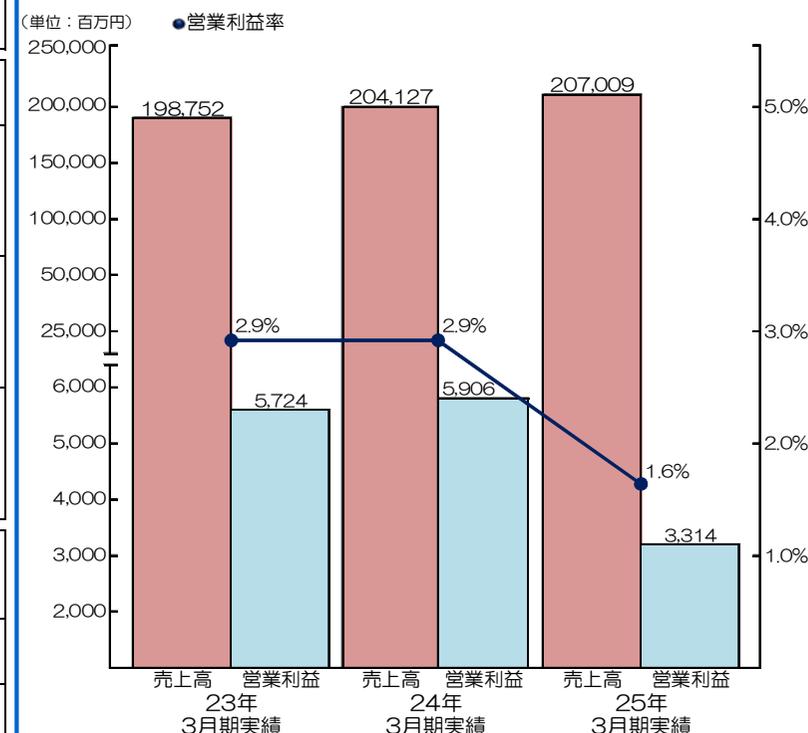
■当期純利益・配当■

製品自主回収関連費用を計上したことなどにより、前年比△48.4%の減益。
配当は、1株当たり8円を予定。

(単位:百万円)

	24年3月期 実績	25年3月期 計画	25年3月期 実績				
				対前年 増減額	対前年 増減率	対計画 増減額	対計画 増減率
売上高	204,127	210,000	207,009	2,882	1.4%	△ 2,991	△ 1.4%
営業利益 (売上高比率)	5,906 (2.9%)	4,450 (2.1%)	3,314 (1.6%)	△ 2,592 (△1.3%)	△ 43.9% -	△ 1,136 (△0.5%)	△ 25.5% -
経常利益 (売上高比率)	6,123 (3.0%)	4,600 (2.2%)	3,607 (1.7%)	△ 2,515 (△1.3%)	△ 41.1% -	△ 993 (△0.5%)	△ 21.6% -
当期純利益 (売上高比率)	3,933 (1.9%)	2,100 (1.0%)	2,029 (1.0%)	△ 1,903 (△0.9%)	△ 48.4% -	△ 71 (0.0%)	△ 3.4% -
1株当たり 当期純利益	30.28円	16.17円	15.63円	△14.65円	-	△0.54円	-
1株配当	9円	9円	8円	△1円	-	△1円	-
配当性向 (%)	29.7%	55.7%	51.2%	21.5%	-	△4.5%	-

売上高と営業利益の状況



※計画:平成24年11月12日発表連結業績予想

平成25年3月期 セグメント別 連結業績

(単位:百万円)

	24年3月期 実績	25年3月期 実績	対前年	
			増減額	増減率
加工食品事業	150,179	148,904	△ 1,275	△ 0.8%
ハム・ソーセージ	89,856	87,756	△ 2,100	△ 2.3%
調理・加工食品	60,322	61,147	824	1.4%
食肉事業	53,543	57,718	4,174	7.8%
その他	404	386	△ 17	△ 4.3%
連結売上高	204,127	207,009	2,882	1.4%
加工食品事業 (売上高比率)	5,486 (3.7%)	3,221 (2.2%)	△ 2,264 (△1.5%)	△ 41.3% -
食肉事業 (売上高比率)	242 (0.5%)	△ 83 (△0.1%)	△ 326 (△0.6%)	- -
その他 (売上高比率)	177 (44.0%)	177 (45.8%)	△0 (1.8%)	△ 0.4% -
営業利益 (売上高比率)	5,906 (2.9%)	3,314 (1.6%)	△ 2,592 (△1.3%)	△ 43.9% -

■加工食品事業■

・ハム・ソーセージ部門は、主力商品の「燻製屋熟成ウインナー」を中心に積極的な販売促進の取組、中元・歳暮ギフトの拡販を図るも、販売競争激化の影響などにより当部門の売上高は前年比△2.3%の減収。

・調理・加工食品部門は、韓国風チゲ「スンドゥブ」や「チキンドリソース」などの売上拡大などにより、当部門の売上高は前年比1.4%の増収。

結果、当セグメントの売上高は前年比△0.8%の減収。

・営業利益は、主力のハム・ソーセージ部門の減収などから、前年比△41.3%の減益。

資料：枝肉規格別卸売価格動向

◆和牛枝肉の規格別卸売価格動向◆
去勢和牛A4（東京市場）



◆国産豚枝肉の規格別卸売価格動向◆
上物（東京市場）



■食肉事業■

・牛肉は、お客様の低価格志向を背景とした価格競争激化など厳しい環境のなか、国産牛肉の回復基調や米国産牛肉の販売拡大に努めた結果、売上高は堅調に推移。

・豚肉は、上半期において供給量が増加し相場が低迷するなど、厳しい状況で推移。

結果、当セグメントの売上高は、前年比7.8%の増収。

・営業利益は、輸入牛肉の相場上昇や急激な為替の変動等により営業損失を計上。

連結財政状態

(単位:百万円)

	24年3月期 実績	25年3月期 実績	対前期末 増減額
現金及び預金	12,482	11,064	△ 1,418
売上債権	25,234	24,994	△ 239
棚卸資産	14,054	14,445	390
その他の 流動資産合計	2,567	2,191	△ 376
流動資産合計	54,338	52,695	△ 1,642
有形固定資産	51,098	50,462	△ 635
無形固定資産	1,928	1,625	△ 303
投資その他の資産	16,991	18,064	1,072
固定資産合計	70,018	70,152	133
資産合計	124,357	122,848	△ 1,509

	24年3月期 実績	25年3月期 実績	対前期末 増減額
仕入債務	19,817	19,907	90
有利子負債	22,663	20,239	△ 2,423
その他の 負債合計	13,567	12,588	△ 978
負債合計	56,048	52,736	△ 3,311
株主資本	64,875	65,735	860
その他の包括利益累計額	1,904	2,816	912
少数株主持分	1,529	1,560	30
純資産合計	68,309	70,112	1,802
負債純資産合計	124,357	122,848	△ 1,509

※有利子負債 = 借入金 + リース債務

■設備投資・減価償却費の状況■

(単位:百万円)

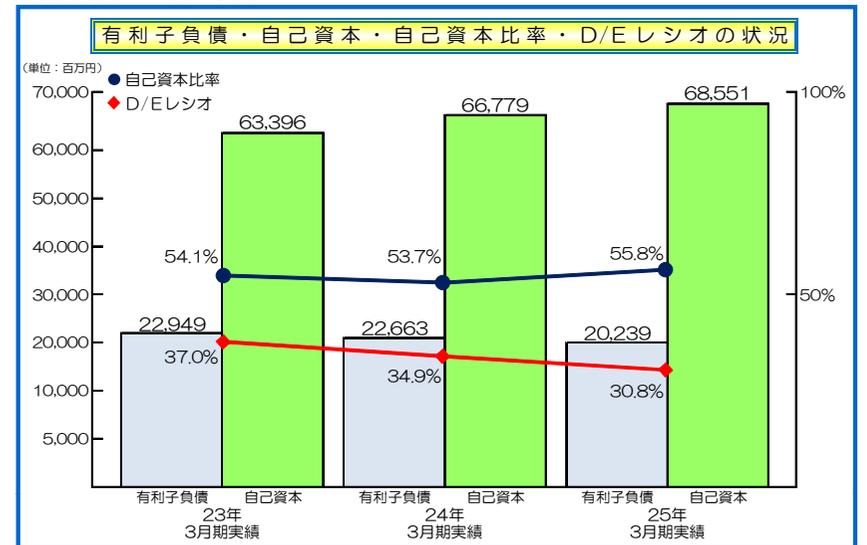
	24年3月期 実績	25年3月期 実績	対前年 増減額
設備投資	6,351	5,695	△ 656
減価償却費	6,094	5,906	△ 188

(単位:百万円)

	24年3月期 実績	25年3月期 実績	対前年 増減額
自己資本	66,779	68,551	1,772
自己資本比率(%)	53.7%	55.8%	2.1%
D/Eレシオ(%)	34.9%	30.8%	△ 4.1%

※D/Eレシオ = 有利子負債 ÷ 株主資本

- ◆総資産は、現金及び預金が減少したことなどから、前期末比△1,509百万円減少。
- ◆負債は、有利子負債の減少などから、前期末比△3,311百万円減少。
- ◆純資産は、当期純利益の計上などから、前期末比1,802百万円増加。
- ◆以上の結果、自己資本比率は、前期末比2.1%増加し、D/Eレシオは、△4.1%低下。
- ◆設備投資は、前年比△656百万円減少の5,695百万円を実施。



平成25年3月期 連結業績のポイント

(単位:百万円)

	24年3月期 実績	25年3月期 実績	対前年	
			増減額	増減率
売上高	204,127	207,009	2,882	1.4%
売上総利益 (売上高比率)	52,473 (25.7%)	50,468 (24.4%)	△ 2,004 (△1.3%)	△ 3.8% -
販売費及び一般管理費 (売上高比率)	46,566 (22.8%)	47,153 (22.8%)	587 (0.0%)	1.3% -
営業利益 (売上高比率)	5,906 (2.9%)	3,314 (1.6%)	△ 2,592 (△1.3%)	△ 43.9% -
営業外損益	216	293	76	-
営業外収益	867	1,018	151	-
営業外費用	650	725	75	-
経常利益 (売上高比率)	6,123 (3.0%)	3,607 (1.7%)	△ 2,515 (△1.3%)	△ 41.1% -
特別損益	△ 836	△ 901	△ 65	-
特別利益	152	59	△ 93	-
特別損失	988	960	△ 27	-
税金等調整前当期純利益	5,287	2,706	△ 2,581	△ 48.8%
法人税等	1,037	626	△ 411	-
少数株主利益	316	49	△ 266	-
当期純利益	3,933	2,029	△ 1,903	△ 48.4%

増 減 要 因

■売上総利益■

売上総利益は、加工食品事業の売上高減少により前年比△3.8%(△2,004百万円)の減益。
売上総利益率は、原材料・燃料価格の高騰、加工食品事業の収益性の低下などから24.4%と前年比△1.3%低下。

■販売費及び一般管理費■

前年比1.3%(587百万円)増加。対売上高比率は、22.8%と前年並。

- ・売上高増加に伴い配送費が前年比0.5%(97百万円)増加。
- ・その他経費は、販売促進費等の増加により前年比4.9%(556百万円)増加。

(単位:百万円)

	24年3月期	25年3月期	増減額
人件費	13,826	13,760	△66
配送費	21,431	21,529	97
その他	11,308	11,864	556
合計	46,566	47,153	587

■営業外損益■

(単位:百万円)

	24年3月期	25年3月期	増減額
受取利息・配当金	300	304	4
その他	566	714	147
営業外収益	867	1,018	151

支払利息	410	319	△90
その他	240	406	165
営業外費用計	650	725	75

■特別損益■

当期製品自主回収関連費用213百万円計上。

(単位:百万円)

	24年3月期	25年3月期	増減額
固定資産処分益	68	57	△10
その他	83	1	△82
特別利益計	152	59	△93

固定資産処分損	596	328	△268
減損損失	195	150	△44
製品自主回収関連費用	-	213	213
その他	196	268	71
特別損失計	988	960	△27

キャッシュ・フロー

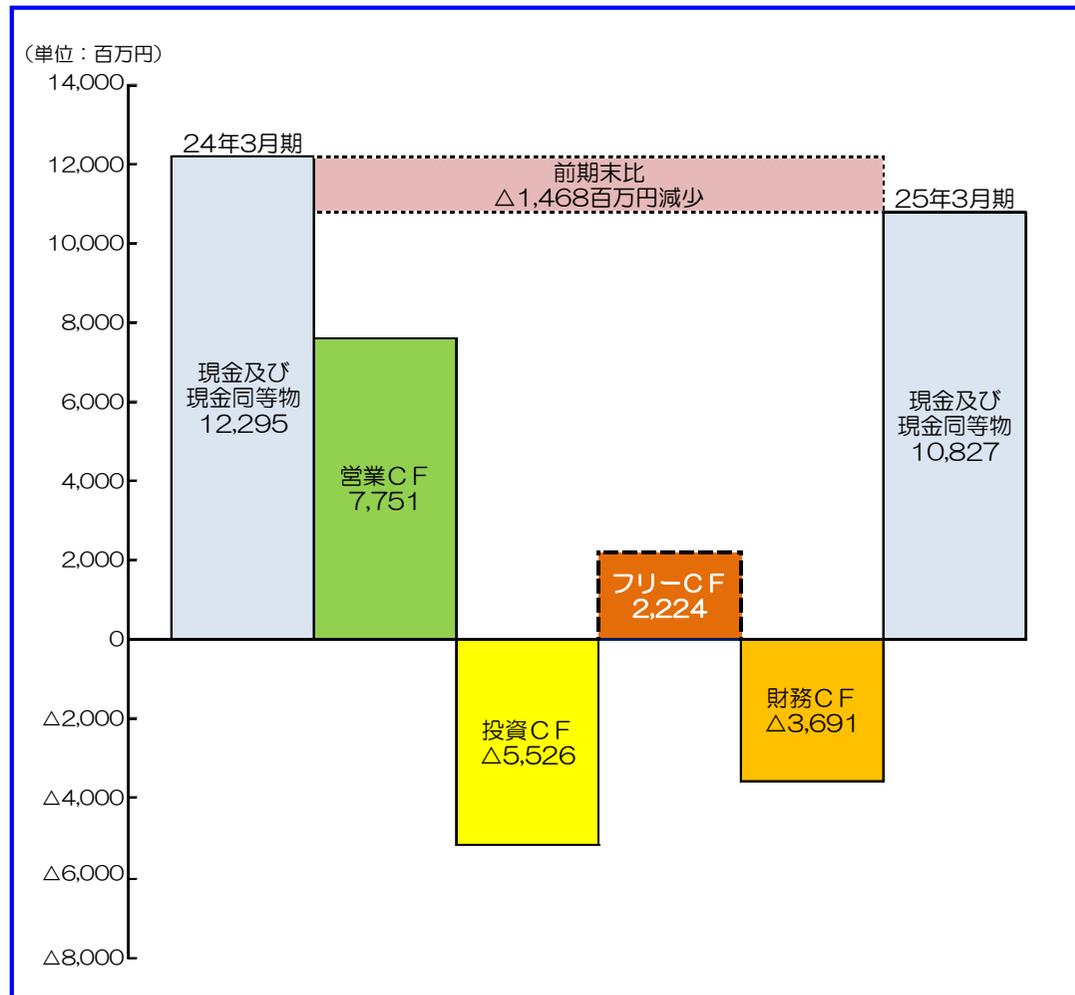
(単位:百万円)

	24年3月期 実績	25年3月期 実績	対前年 増減額
営業活動によるCF	8,328	7,751	△ 577
投資活動によるCF	△ 6,077	△ 5,526	551
フリー・キャッシュ・フロー	2,250	2,224	△ 25
財務活動によるCF	△ 3,537	△ 3,691	△ 153
現金及び現金同等物の増減額	△ 1,287	△ 1,468	△ 180
現金及び現金同等物残高	12,295	10,827	△ 1,468

■25年3月期キャッシュ・フロー主な内訳■

(単位:百万円)

	24年3月期 実績	25年3月期 実績	対前年 増減額
◆ 営業活動によるCF			
・税金等調整前当期純利益	5,287	2,706	△ 2,581
・減価償却費	6,094	5,906	△ 188
・運転資金	△ 3,047	△ 204	2,843
・その他	△ 5	△ 656	△ 650
◆ 投資活動によるCF			
・固定資産の取得	△ 5,464	△ 5,658	△ 194
・固定資産の売却による収入	336	300	△ 36
・その他	△ 950	△ 167	782
◆ 財務活動によるCF			
・配当金の支払額	△ 1,039	△ 1,169	△ 129
・有利子負債増減	△ 2,493	△ 2,502	△ 9
・その他	△ 5	△ 19	△ 14



※フリー・キャッシュ・フロー = 営業活動によるキャッシュ・フロー + 投資活動によるキャッシュ・フロー

■営業活動によるCF■

たな卸資産の増加などによる減少要因がありました、税金等調整前当期純利益の計上などから、7,751百万円増加。

■投資活動によるCF■

生産設備の増強・合理化、品質安定のための固定資産取得による支出などから、△5,526百万円減少。

■財務活動によるCF■

有利子負債の返済や配当金の支払いなどから、△3,691百万円減少。

■通期見通し■

(単位:百万円)

	25年3月期 実績	26年3月期 計画		
		対前年 増減額	対前年 増減率	
売上高	207,009	220,000	12,990	6.3%
営業利益 (売上高比率)	3,314 (1.6%)	4,000 (1.8%)	685 (0.2%)	20.7%
経常利益 (売上高比率)	3,607 (1.7%)	4,200 (1.9%)	592 (0.2%)	16.4%
当期純利益 (売上高比率)	2,029 (1.0%)	2,250 (1.0%)	220 (0.0%)	10.8%
1株当たり 当期純利益	15.63円	17.32円	1.69円	10.8%
1株配当	8円	8円	-	-

■セグメント別 売上高、営業利益見通し■

(単位:百万円)

	25年3月期 実績	26年3月期 計画		
		対前年 増減額	対前年 増減率	
加工食品事業	148,904	156,000	7,095	4.8%
食肉事業	57,718	63,600	5,881	10.2%
その他の他	386	400	13	3.4%
連結売上高	207,009	220,000	12,990	6.3%
加工食品事業 (売上高比率)	3,221 (2.2%)	3,550 (2.3%)	328 (0.1%)	10.2%
食肉事業 (売上高比率)	△ 83 (△0.1%)	300 (0.5%)	383 (0.6%)	-
その他の他 (売上高比率)	177 (45.8%)	150 (37.5%)	△ 27 (△ 8.3%)	△15.3%
営業利益 (売上高比率)	3,314 (1.6%)	4,000 (1.8%)	685 (0.2%)	20.7%

(注) この資料に記述されている計画数値は本資料の発表現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって計画数値と異なる場合があります。

連結通期見通し

経済対策などによる景気回復への期待感はあるものの、当社グループを取り巻く事業環境は、価格競争の激化や為替等の影響などにより原材料・燃料価格の上昇が見込まれるなど、厳しい状況が続くものと予想されます。

セグメント別の業績予想

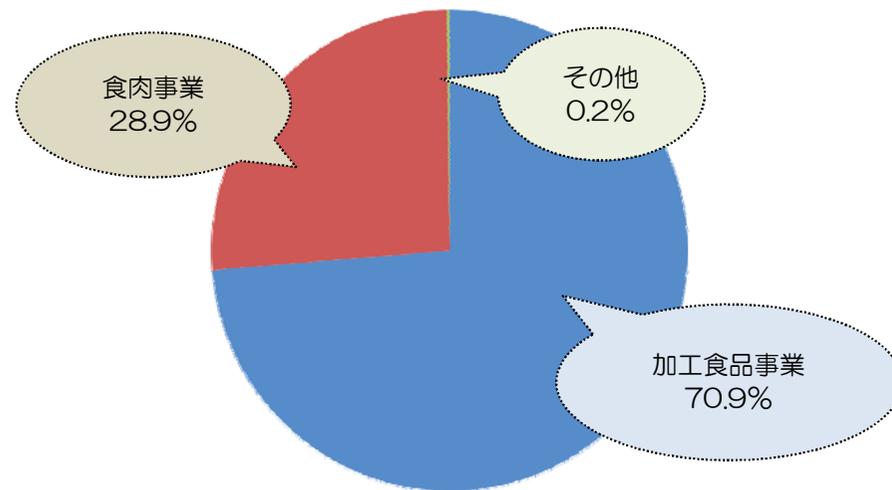
■加工食品事業■

商品開発力の強化、コスト競争力の向上を推進すると共に、積極的な販売活動の展開により、当社ブランドの育成と浸透を図り売上の拡大に努めることにより、次期の業績は4.8%の増収、10.2%の増益を予想しております。

■食肉事業■

食肉全般の需給動向を的確に捉え、消費者や顧客のニーズに合致した食肉販売の推進により、売上の拡大に取り組んでまいります。次期の業績は、食肉相場の改善等により、10.2%の増収、黒字確保を予想しております。

セグメント別売上高構成比見通し





丸大食品食育キャラクター
「わんぱくくん」

丸大食品

丸大ギフト

加工食品

4度目の最高金賞受賞

モンドセレクション2012
最高金賞受賞
MONDE SELECTION
International Quality Institute Since 1961
4度目の最高金賞受賞

SINCE 1961
MONDE SELECTION
2012
GRAND GOLD
AWARD

ハム・ソーセイジ部門
ウィンナー

くんせいや
燻製屋

72時間以上じっくり熟成させる
ことでお肉のおいしさを最大限に
引き出しています。

丸大食品

いつも新鮮
ローズハム

いつも新鮮ローズハム
豊富な赤身肉、チルドでたぎらさず
おいしいおいしいハムです
いつも新鮮な
ローズハムをお楽しみください。

丸大食品

おかげさまで**35**周年

おかげさまで35周年
おかげさまで35周年
おかげさまで35周年

おかげさまで35周年
おかげさまで35周年

丸大食品

ファイブエ
ソーセージ

ファイブエ
ソーセージ

丸大食品

最高金賞
王覇

最高金賞
王覇

丸大食品

最高金賞
煌彩

最高金賞
煌彩

丸大食品

うす塩

うす塩

うす塩

淡路島の
藻塩仕立て

はるか昔の海をこえて
淡路島の旨味たっぷりの「淡路島の藻塩」を使った
まろやかな味わいのシリーズです。

2012年モンドセレクション
最高金賞受賞

モンドセレクション最高金賞受賞の味を忠実に
まろやかな味わいの「藻塩仕立て」ローズハムです。

切れてる！
焼豚

切れてる！
焼豚

丸大食品

本格チキンンドリアが
こんなに手軽に！
こんなに美味しく！

チキンと
ごはん
すぐできる！

鶏肉の旨みと玉ねぎのkokoroが決めて

丸大食品

豆腐と卵ですぐできる
スンドップを
日本でも手軽に！

スンドップ
辛口

スンドップ
マイルド

What's スンドップ？

スンドップの味わい

アレンジを凝らしてみよう！

スンドップの魅力を最大限に活かすには、
豆腐と卵の組み合わせがポイント。そして、
お好みの調味料を加えて、お好みの味に
調整していただくのがポイントです。

手軽にスンドップを食べるコツ！

スンドップは、豆腐と卵の組み合わせがポイント。
お好みの調味料を加えて、お好みの味に
調整していただくのがポイントです。

丸大食品

鶏肉や
つくまり
グリーンカレー

本格タイカレー
Green Curry 中辛

250g 2人前

宇都宮
肉餃子

宇都宮
肉餃子

明日に備える乳酸菌

EMIAL

SBL88

明日の生活を考えた
バランス飲料乳酸菌

からだにげたく
ヨーグルト

カスタード
バナナ

ヨーグルトバナナ味

SWEET CAFE

タピオカタイム

スムージー
SMOOTHIE

杏仁豆腐
マンゴープリン
ココナッツプリン

和風デザート

丸大食品

本資料の記載内容には、将来に関する計画や戦略、業績の見通しの記述が含まれています。これらの記述は現時点で把握可能な情報等から得られた当社の判断に基づいております。また、これらの見通しには潜在的なリスクや不確実な要素などの要因が含まれており、実際の成果や業績は、記載の見通しとは異なる可能性があります。